

第45回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和3年6月30日（水） 10:00～12:00
2. 開催方法：Webexによるオンライン開催
3. 出席者：渡邊、阿部（東北大学）、山下（東京大学）、高木・山本（東芝ESS）、荘田（三菱重工）、長瀬（日立GE）、伊藤（日立）、河村、藤原（電中研）、大橋（オルガノ）、勝村（東京大学名誉教授）、埴（JAEA）、杉野（日本原電）【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について了承された。

(2) 第41回定例研究会について

山本委員（定例研究会WG担当）より、資料に基づき今後の定例研究会の基調テーマ案及び次回定例研究会の案が説明された。

定例研究会の基調テーマはこれまで水化学ロードマップにリンクしたものの中から選定していたが、視野を広げることが重要であり、今後はより幅広いテーマの中から選定することとし、次回テーマはカーボンニュートラルとすることで了承された。次回開催は、11/11（水）、11/17（水）、11/18（木）の中から選定することとなった。

(3) 水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

杉野委員（庶務担当）より、資料に基づき水化学部会賞の運用方法とガイドライン及び細則の変更案について説明があり、記載内容を一部修正することで了承された。

なお、細則の改訂には全体会議での承認が必要であることから、11月の定例研究会に併せて臨時の全体会議を開催しその場で承認を得ることとした。

(4) 3部会合同夏季セミナーの準備状況について

河村委員（企画担当）より、資料に基づき3部会合同夏季セミナーの検討状況が説明され、主催である核燃料部会のホームページに募集要項があるので積極的にご参加頂きたい旨の説明があった。

(5) 2022年春の年会 企画セッションについて

河村委員（企画担当）より、資料に基づき2022年春の年会 企画セッションへの対応が説明された。

テーマを「水化学管理指針の改定に向けた議論」とし、標準委員会との共催で調整を進めることとなった。なお、講演内容の一つに「標準改訂に向けた大

学からの意見」が示されているが、大学が直接指針を使用することは無いため、講演内容の一部を見直すこととなった。

(6) 2021 年度部会報の内容案について

大橋委員（広報担当）より、資料に基づき部会報の準備状況が報告され、巻頭文は渡邊部会長が執筆することとなった。

また特別寄稿として予定している「研究アーカイブズの意義」については、部会報では紙面が限られているため、定例研究会で講演頂くことを検討することとなった。

部会報の発行は 2022 年 3 月を予定していることが周知された。

(7) AWC2022 の準備状況について

阿部委員（AWC2022 WG 担当）より、資料に基づき AWC2022 の検討状況が報告された。

開催地は東北大学青葉山キャンパス、開催期間は 2022 年 9 月 12 日の週の後半の 3 日間で調整することとし、日程が確定次第 各国のコンタクトパーソンに周知することとした。

(8) 2021 秋の大会における講演賞の選考委員について

埴委員（選考小委担当）より、資料に基づき 2021 秋の大会での講演賞の選考委員について説明があり、秋の大会に参加予定の委員の中から選定することとなった。

(9) 水化学ハンドブックの改訂状況について

杉野委員（ハンドブック改訂 WG 幹事）より、ハンドブック改訂 WG の状況が報告された。発刊は来年となる見込み。

(10) シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動研究専門委員会について

高木副部会長より、同委員会の活動状況及び今後の予定が報告された。

今年度から「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動研究専門委員会」と改名し新たに研究専門委員会が立ち上がったこと、技術報告書は 300 ページ、価格は税込み 4,400 円で 2021 年 5 月に発刊され、初版は 100 部印刷されたことが周知された。

(11) NPC2021 の状況について

渡邊部会長より、NPC2021 の状況について報告された。

コロナ禍の影響により来場できない参加者を対象にオンラインでの参加を検討中とのことであるが、現段階で詳細は明らかとなっていない。改めて日本の状況を説明し、主催者からのレスポンスを待って参加可否を判断することとなった。

(12) 異常事象解説チーム（チーム 110）について

渡邊部会長より、チーム 110 への水化学部会からの推薦者について報告された。

各部会から 2 名推薦することとなっており、水化学部会からは現在 JAEA 内田氏、勝村顧問の 2 名を推薦しているが、勝村顧問がご引退のご意向であることから、後任として高木副部会長を推薦する旨紹介があった。

(13) HWC 技術報告書について

山本委員より、HWC 技術報告書について報告された。

本報告書を運営小委で確認後、水化学部会のホームページに掲載する旨紹介があった。

以 上